



第1章

足利将軍家が愛した唐物から、高麗物、千利休が生み出した楽茶碗まで！

唐物から和物へ 侘茶の大成

第1節 室町幕府将軍家の唐物愛好

第2節 侘茶の大成と和物の隆盛



(重要文化財) 油滴天目
中国・建窯 九州国立博物館蔵

千利休、切腹を命じられる
2週間前の自筆



(熊本県指定文化財)
書状 二月十四日 松井康之宛
千利休筆
天正19 (1591) 年
松井文庫蔵

利休が「俊寛」と命名した訳は!?



答えは展覧会会場で!

(重要文化財) 黒楽茶碗 銘 俊寛
長次郎 三井記念美術館蔵

中世に始まる薩摩の茶の湯の展開を、約100点の作品と資料で紹介。

第3章 薩摩の茶の湯

- 第1節 中世薩摩の茶の湯
- 第2節 近衛家と島津家
- 第3節 島津義弘と薩摩の茶陶
- 第4節 大名茶への展開



肩衝茶入 銘 サイノホコ
薩摩 田中丸コレクション (福岡市美術館保管)

古田織部と島津義弘が連携して
生み出した
薩摩肩衝
といえば、
この形!



白磁無地金襴手馬上杯(金毘瑠)
中国・清朝 陽明文庫蔵

中国の喫茶と日本の茶の湯、どちらもしなやかに
受け入れた琉球の茶の湯

第4章 琉球の茶の湯

- 第1節 考古資料からみた琉球の茶の湯
- 第2節 中国・薩摩と琉球の茶の湯
- 第3節 琉球の工芸

特集 黎明館企画特別展

茶の湯と薩摩

日本を代表する文化である「茶の湯」は、平安末期から鎌倉時代、禅宗とともに中国からもたらされた抹茶を飲む習慣に始まり、時代とともに道具や作法、設えが整えられ、独自の文化として発展しました。安土桃山時代、千利休(1522~1591)が「侘茶」を大成したことにより完成期を迎え、現代まで受け継がれてきました。

本展では、歴史の動向やさまざまな文化交流によって生まれ、拡がりを見せる薩摩の茶の湯の様相を、茶道具を中心に歴史資料や出土遺物等を通じて紹介するとともに、茶の湯の中で重用された名品の数々を紹介します。



琉球人舞楽絵巻物 沖縄県立博物館・美術館蔵



黒漆仙人遊棋花鳥螺細茶箱 茶巾筒・裏付
沖縄県立博物館・美術館蔵

第5章 桃山の茶陶と九州諸窯

大胆なへら目と歪みの“破格”の造形に九州諸窯も挑んだ!

第1節 美濃とその周辺

第2節 九州諸窯

白釉馬上杯形御判手茶碗
薩摩 個人蔵



織部を代表する手鉢

織部洲浜形手鉢 東京国立博物館蔵
Image:TNM Image Archives

第2章 戦国武将と茶の湯

島津義弘へ、立花宗茂へ、豊臣秀吉が下賜した茶道具

第1節 島津義弘

第2節 細川忠興と松井康之

第3節 立花宗茂



(鹿児島県指定文化財)
漢作肩衝 銘 平野
尚古集成館蔵



唐物 褐釉四耳蓮華王茶壺
立花家史料館蔵

9/22[㊤]-11/6[㊤] 黎明館2階 第2特別展示室

開館時間：9:00～18:00 (入館は17:30まで) / 休館日：9/26、10/3、10/11、10/17、10/24、10/25、10/31

観覧料：一般 800 (600) 円 / 大学生 500 (350) 円 / 高校生以下無料 ※ () は20名以上の団体料金と前売券料金 ※ 障害者手帳の提示で観覧料が無料になります (介護者1名含む)

主催：令和4年度黎明館企画特別展実行委員会 (鹿児島県歴史・美術センター黎明館 / 南日本新聞社 / MBC 南日本放送)

後援：鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、NHK 鹿児島放送局、KKB鹿児島放送、μFMエフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム、表千家同門会鹿児島支部、茶道裏千家淡交会鹿児島支部、鹿児島陶芸家協会、鹿児島県薩摩焼協同組合 / 特別協力：国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館、九州国立博物館

関連イベント

講演会 事前申込制 / 聴講無料

※ いずれの関連イベントも事前申込制です。詳細は黎明館ホームページ等でご確認ください。

A 記念講演会

日時：9月24日(土) 13:30～15:00

会場：黎明館2階 講堂

演題：「戦国武将と茶の湯」

講師：東京大学史料編纂所

教授 本郷 和人氏

B 記念講演会

日時：10月1日(土) 13:30～15:00

会場：黎明館2階 講堂

演題：「琉球のお茶の話」

講師：沖縄県立博物館・美術館

館長 田名 真之氏

C 記念講演会

日時：10月15日(土) 13:30～15:00

会場：黎明館2階 講堂

演題：「薩摩の茶の湯文化－島津家を中心に－」

講師：尚古集成館

前館長 田村 省三氏

D 展示解説講座

日時：10月29日(土) 13:30～15:00

会場：黎明館2階 講堂

演題：「茶の湯と薩摩」

講師：黎明館主任学芸専門員

深港 恭子

ワークショップ

全2回 / 事前申込制 / 要参加費

薩摩焼の抹茶碗づくり体験 ～手びねりとロクロでつくる2つの器～

① 10月9日(日) 13:00～15:30 ② 10月30日(日) 13:00～15:00

会場：黎明館3階 講座室・茶室 楠芳亭 / 講師：琴鳴堂 四元 誠氏 / 参加費：一般 2,000円、大学生 1,750円、高校生以下 1,400円